

講義名:	セルフマネジメントⅡ-①	講義時間数: 93時間	受講コース名: エアライン
担当:	中尾 早希	単位数: 6単位	学年: 2年
講義形式:	演習形式(小テスト・スピーチなど)		実施時期: 2021年度 前期
認定方法:	その他(出席を得点化して評価)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無し		
備考:	原則、全登校日の1限目に実施。日々積み重ねていくことが最も重要な科目であるため、試験・提出物などではなく、出席率を評価の対象とする。		
講義概要:	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認他朝テストなどの帯学習実施 スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化		
到達目標:	自律する力、自ら考える力、行動する力、感謝する心を身につける。 自分の考えを自分の言葉で表現できる。他者の考えを素直に吸収し人間性の幅を広げられる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	唱和・朝テスト・スピーチ ※時期により、多少の変動有		
授業教材等:	オリジナルプリント(朝テスト教材)		

講義名:	就職対策Ⅱ	講義時間数:	50時間	受講コース名:	エアライン
担当:	今川 弥生	単位数:	3単位	学年:	2年
講義形式:	演習形式			実施時期:	2021年度 前期
認定方法:	その他(出席を得点化して評価)			実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	無し				
備考:	無し				
講義概要:	実践的な就職対策を通して、自己の将来像を明確にし、希望職への入職を実現する。				
到達目標:	就職活動に直結する履歴書作成や面接練習などを通して、自己表現力・コミュニケーション能力を鍛える。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	ES作成・履歴書作成・面接練習			14回目	ディスカッション
2回目	ES作成・履歴書作成・面接練習			15回目	ES作成・履歴書作成・面接練習
3回目	ES作成・履歴書作成・面接練習			16回目	面接対策
4回目	SPI対策			17回目	ES作成・履歴書作成・面接練習
5回目	ES作成・履歴書作成・面接練習			18回目	ES作成・履歴書作成・面接練習
6回目	ES作成・履歴書作成・面接練習			19回目	ディスカッション
7回目	ES作成・履歴書作成・面接練習			20回目	ES作成・履歴書作成・面接練習
8回目	ES作成・履歴書作成・面接練習			21回目	ES作成・履歴書作成・面接練習
9回目	面接対策			22回目	ES作成・履歴書作成・面接練習
10回目	ディスカッション			23回目	面接対策
11回目	ES作成・履歴書作成・面接練習			24回目	ES作成・履歴書作成・面接練習
12回目	ES作成・履歴書作成・面接練習			25回目	面接対策
13回目	面接対策				
授業教材等:	プリントを適宜配布				

講義名:	TOEIC II-①	講義時間数:	34時間	受講コース名:	エアライン
担当:	WillmsPeter, TownsendPaul	単位数:	2単位	学年:	2年
講義形式:	座学型講義中心			実施時期:	2021年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記試験)なし・期末テストなし 以下の方法で評価を行います: 1.参加態度 40% ・クラス内の活動への参加 ・課題をきちんとしているか ・講師やクラスメイトとの交流 ・出席と時間厳守 2. TOEIC模擬試験60% ・模擬テスト1(20%)テストを完了すると10の合格点が与えられ、スコアから追加の点数が計算されます。5月24日と31日に予定されています。 ・模擬テスト2(40%)テストを完了すると20の合格点が与えられ、スコアから追加の点数が計算されます。9月6日と13日に予定されています。			実務経験者 担当科目	○
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)			実務経験:英会話講師として勤務 20年	
追試験実施:	無し				
備考:					
講義概要:	ネイティブ講師による50分のTOEICクラスを17日間で34回受講します。				
到達目標:	このコースの目的は、TOEICテストへの理解を深め、TOEICのスコアアップに役立つスキルを学習・実践する機会を提供することです。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	Part 1: Photos of People and Things	10回目	Part 5: Context: Verbs, Adjectives, Adverbs, Conjunctions, Prepositions		
2回目	Part 1: Photos of Things; Practice Test 1: Listening	11回目	Part 6: Verb Patterns, Modifier Choices		
3回目	Practice Test 1: Reading	12回目	Part 6: Context, Main Ideas and Details; General Review		
4回目	Part 2: Statements, Occupations, Activities, Time, Location, Reason	13回目	Part 7: Advertisements, Forms, Letters, E-mails and Memos, Tables, Indexes and Charts		
5回目	Part 2: How, Auxiliaries; Part 3: Occupations, Activities	14回目	Part 7: Instructions and Notices, Text Message Chains and Online Chat Discussions		
6回目	Part 3: Time, Locations, Reasons, Meaning in Context	15回目	Reading Comprehension Review		
7回目	Part 3: Test Strategies; Part 4: Advertisements, Weather, News	16回目	Listening Comprehension Review; Practice Test 2: Listening		
8回目	Part 4: Phone Messages, Special Announcements, Business Announcements, Test Strategies	17回目	Practice Test 2: Reading		
9回目	Part 5: Word Forms: Nouns, Verbs, Adjectives, Adverbs, Pronouns, Context: Nouns				
授業教材等:	LONGMAN PREPARATION SERIES FOR THE TOEIC TEST Intermediate course 6th edition				

講義名:	イベントプランニング	講義時間数: 30時間	受講コース名: エアライン
担当:	上村 玄之	単位数: 2単位	学年: 2年
講義形式:	座学、実習、イベント参加		実施時期: 2021年度 前期
認定方法:	その他(出席、授業態度を得点化して評価)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無し		
備考:			
講義概要:	「発表、パーティーイベント」「旅行観光、接客イベント」		
到達目標:	接客サービスのイベントを通じ、学生が深い学びをすること。 それにより学校生活の充実感を得る。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	教員よりプレゼン。今回のイベント目的、概要、学生へのモチベート		
2回目	企画Mtg. 各役割編成 脚本、演出、製作		
3回目	企画Mtg. 各役割編成 脚本、演出、製作		
4回目	会場見学 リサーチ		
5回目	各役割で製作		
6回目	各役割で製作		
7回目	各役割で製作		
8回目	リハーサル 準備		
9回目	リハーサル 準備		
10回目	リハーサル 準備		
11回目	リハーサル 準備		
12回目	リハーサル 準備		
13回目	会場リハーサル、準備。 1年生レクチャー		
14回目	メイク授業内 「学生ファッションショー」		
15回目	本番		
授業教材等:	プリント等		

講義名:	エアラインマインドⅡ	講義時間数:	38時間	受講コース名:	エアライン
担当:	長澤 さおり	単位数:	2単位	学年:	2年
講義形式:	座学型講義(グループワーク・演習・録画有り)			実施時期:	2021年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記試験)			実務経験者 担当科目	○
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	全日本空輸株式会社 キャビンアテンダント勤務 10年
追試験実施:	有り(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)				
備考:					
講義概要:	1年次に修得したエアライン業界にて重要であるホスピタリティマインドをさらに醸成していくとともに、社会人にふさわしいビジネスマナー、組織で働く貢献意識を身につける。				
到達目標:	1年次に修得したホスピタリティマインドを軸に、主体性、向上心を持ち、良好な対人関係を築くことができ、ホスピタリティの心を持ち、社会の発展に貢献する価値を作り出すことができる組織人となる思考、またその力(人間力)を培うことを目指す。また社会人にふさわしい具体的なビジネスマナーの修得もめざす。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	オリエンテーション・目的目標	11回目	機内サービスⅣ		
2回目	機内サービスⅠ	12回目	機内サービスⅤ		
3回目	機内サービスⅡ	13回目	社会人としての心構え		
4回目	機内サービスⅢ	14回目	伝える力・雑談力		
5回目	私のホスピタリティ軸	15回目	PDCAサイクルを回すとは		
6回目	ビジネスマナーⅠ	16回目	チームで働くということ		
7回目	ビジネスマナーⅡ	17回目	チームコミュニケーション・報連相		
8回目	ビジネスマナーⅢ	18回目	回復力・モチベーションの上げ方		
9回目	機内保安Ⅰ	19回目	前期試験		
10回目	機内保安Ⅱ				
授業教材等:	ホスピタリティ・マナーテキストブック、配布プリント				

講義名:	エアライン英会話Ⅱ-①	講義時間数:	36時間	受講コース名:	エアライン
担当:	ポール ワトソン	単位数:	2単位	学年:	2年
講義形式:	演習型講義中心(スピーキング)			実施時期:	2021年度 前期
認定方法:	その他(出席を得点化して評価)			実務経験者 担当科目	
評価:	S=100%、A=90~90点、B=89~85点、C=84~80点、D=80点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	無し				
備考:					
講義概要:	海外で実際に使われている英語表現を学びながら、英語のみを使った会話力を伸ばす。また、英語の背景にある文化に対する理解を深め、視野を広く持ち、国際感覚・国際協調の精神も養う。				
到達目標:	英語を話す力を伸ばし、話すことに対して自信をつける。 リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴を掴み、自らの会話に取り入れるようになる。 言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを取れるようになる。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	自己紹介	10回目	実体験を通して英語に親しむ講義		
2回目	英語の音やリズムに触れる講義	11回目	英語での自己表現を中心とした講義		
3回目	英語の単語や表現に触れる講義	12回目	英語の音やリズムに触れる講義		
4回目	英語の表現に慣れる講義	13回目	英語の単語や表現に触れる講義		
5回目	実体験を通して英語に親しむ講義	14回目	英語の表現に慣れる講義		
6回目	英語での自己表現を中心とした講義	15回目	実体験を通して英語に親しむ講義		
7回目	英語の音やリズムに触れる講義	16回目	英語での自己表現を中心とした講義		
8回目	英語の単語や表現に触れる講義	17回目	まとめ、振り返り①		
9回目	英語の表現に慣れる講義	18回目	まとめ、振り返り②		
授業教材等:					

講義名:	中国語①	講義時間数: 32時間	受講コース名: エアライン
担当:	柯 龍蘭	単位数: 2単位	学年: 2年
講義形式:	座学型講義形式、演習(場面練習等の)形式併用		実施時期: 2021年度 前期
認定方法:	その他(定期試験60%、対話練習の積極性20%、出席20%)		実務経験者 担当科目 <input type="radio"/>
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験: 塾にて講師勤務 3年 中国語家庭教師歴 10年
追試験実施:	有り(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:			
講義概要:	初心者が対象です。基礎知識は要りませんが、「聞く」と「参加する」授業です。中国語を導入するための基礎知識を習得し、発音・単語・基本文法を中心に日常会話で練習します。Unit(ユニット)ごとに、さまざまな場面を想定して、基本的な単語や簡単な文章で会話を楽しみましょう。		
到達目標:	中国語の発音をマスターする。基本的な語彙を読めるよう、簡単な文法を理解し、日常会話を話し、聞き取れることを目標とします。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	ガイダンス、声調(四声)とピンイン(四声)、単母音、日常生活でよく使う挨拶		
2回目	子音 無気音と有気音、そり舌音、複母音1(単母音以外)		
3回目	複母音2(単母音以外)、声調記号のつけ方		
4回目	Unit 1~Unit 14 復習		
5回目	Unit 15~Unit 23		
6回目	Unit 24~Unit 32		
7回目	Unit 33~Unit 41		
8回目	Unit 42~Unit 50		
9回目	Unit 51~Unit 59		
10回目	Unit 60~Unit 68		
11回目	Unit 69~Unit 77		
12回目	Unit 78~Unit 86		
13回目	Unit 87~Unit 95		
14回目	Unit 96~Unit 104		
15回目	Unit 105~復習		
16回目	中級編 Unit 1~Unit 5		
授業教材等:	1. 真剣に学び続ける人の中国語教本【入門編】、2. 真剣に学び続ける人の中国語教本【中級編】		

講義名:	体育①	講義時間数: 18時間	受講コース名: エアライン
担当:	服部 成志 / 豊岡 恵梨子	単位数: 1単位	学年: 2年
講義形式:	実技		実施時期: 2021年度 前期
認定方法:	その他(出席を得点化して評価)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無し 講義時間数の80%以上出席必要		
備考:	A・Bの2チームに分け体育館とミライアス(ヨガ)を交互に使用する。 新型コロナウイルスの感染状況に合わせて、競技・ペアワークの実施は変更の可能性あり。		
講義概要:	球技や音楽に合わせたエクササイズなどを通じて、心身の健やかな成長をねらう。 和みのヨガを通して、自分自身の身体を整える方法と習慣を身に付ける。		
到達目標:	技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わい、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育む。 自分の体調は自分で整えるという自律した姿勢を身に付ける。 自分の体調に合わせて、必要な手当てを選択することができる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	体育館:オリエンテーション		
	ヨガ:オリエンテーション・ソロワーク(上半身)		
2回目	体育館:エクササイズ①		
	ヨガ:ソロワーク(全身)		
3回目	体育館:球技①		
	ヨガ:ボディラインを美しくするヨガ		
4回目	体育館:エクササイズ②		
	ヨガ:お肌を美しくするヨガ		
5回目	体育館:球技②		
	ヨガ:顔周りのリンパの流れを整えるヨガ		
6回目	体育館:エクササイズ③		
	ヨガ:疲れを取り、エネルギーに溢れる自分になるヨガ		
7回目	体育館:球技③		
	ヨガ:前期の振り返り		
8回目	体育館:前期の振り返り		
	ヨガ:前期の振り返り		
授業教材等:			



講義名:	カラー	講義時間数: 16時間	受講コース名: エアライン
担当:	近藤 真代	単位数: 1単位	学年: 2年
講義形式:	座学、演習		実施時期: 2021年度 前期
認定方法:	その他(出席を得点化して評価)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無し		
備考:			
講義概要:	写真や画像、プリントを用いた学習に加えて、グループワークでカラーカードを用いた配色演習等の体験で理解を深めていく		
到達目標:	自分に似合う色パーソナルカラーを知り、自己ブランディングをしていく		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	色彩の基礎知識 パーソナルカラーとは パーソナルカラーの必要性 パーソナルカラーの特徴		
2回目	似合う(調和する)色と似合わない(調和しない)色 分析ポイントは肌・目・髪 パーソナルカラーの分類法		
3回目	4シーズンの特徴について 春・夏		
4回目	4シーズンの特徴について 秋・冬		
5回目	パーソナルカラー診断の手順 テストドレープの展示		
6回目	4シーズンのヘアメイクの特徴 各シーズンのヘアカラー・ヘアスタイルのポイント 各シーズンのメイクのポイント		
7回目	4シーズンのファッションの特徴 各シーズンの素材や柄		
8回目	パーソナルカラーと骨格診断 ウェディングスタイルにおけるパーソナルカラーの必要性		
授業教材等:			

講義名:	サービス介助Ⅱ	講義時間数: 18時間	受講コース名: エアライン
担当:	中尾 早希	単位数: 1単位	学年: 2年
講義形式:	座学・実技		実施時期: 2021年度 前期
認定方法:	その他(出席を得点化して評価)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有り(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:			
講義概要:	サービス業界で求められる、高齢者や障がいをお持ちの方などお手伝いを必要とされるお客様への「おもてなしの心」「安全な介助技術」を学ぶ		
到達目標:	「サービス介助士」資格取得。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	サービス介助士の基本理念、ホスピタリティ・マインド、ノーマライゼーション		
2回目	高齢社会への理解と介助		
3回目	障がい者への理解と介助		
4回目	障がい者の自立支援		
5回目	サービス介助の接遇		
6回目	日本ケアフィット共育機構講師による研修受講(心のバリアフリー、高齢者への理解)		
7回目	日本ケアフィット共育機構講師による研修受講(車いす使用者への接遇・介助実技、聴覚障がい者への接遇)		
8回目	日本ケアフィット共育機構講師による研修受講(知的障がい者への理解、視覚障がい者への接遇)		
9回目	日本ケアフィット共育機構講師による研修受講(実技チェック、検定試験実施)		
授業教材等:	サービス介助士テキスト		

講義名:	課題研究	講義時間数: 16時間	受講コース名: エアライン
担当:	今川 弥生	単位数: 1単位	学年: 2年
講義形式:	演習形式		実施時期: 2021年度 前期
認定方法:	その他(出席を得点化して評価)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無し		
備考:	無し		
講義概要:	人気の観光地、話題のスポット等を調べて、その人気の理由を分析し、プレゼンテーションを行う。一連の流れを通して、お客様が何を望んでいるのかを明確化する。		
到達目標:			
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	課題研究①		
2回目	課題研究②		
3回目	課題研究③		
4回目	課題研究④		
5回目	課題研究⑤		
6回目	課題研究⑥		
7回目	発表		
8回目	発表		
授業教材等:	プリントを適宜配布		

講義名:	コミュニケーション応用	講義時間数: 16時間	受講コース名: エアライン
担当:	坂上 弘次	単位数: 1単位	学年: 2年
講義形式:	演習・座学		実施時期: 2021年度 前期
認定方法:	その他(50点=出席率を点数換算 50点=単位認定試験)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	なし		
備考:	総時間数の8割以上の出席がない場合は単位認定試験を受けることが出来ない。 2022/2/13(日)コミュニケーション検定初級リモートWEBテスト 受付2021/7/19~ ¥2,800		
講義概要:	コミュニケーション検定初級程度の学習を行いながらグループワークを実施 その他「雑談力」をテーマに講義とワークを行う。		
到達目標:	接客業において必要な隠れたニーズを引き出す話力を身につける。 コミュニケーション検定初級の知識からお客様対応についての基礎を学ぶ。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	オリエンテーション、授業の進め方、プリント配布(9/2)		
2回目	コミュニケーションの基本を身につけよう(9/7)		
3回目	話すときのこころ構えを理解しよう(9/9)		
4回目	効果的な話し方を身につけよう(9/14)		
5回目	効果的な表現力を身につけよう(9/16)		
6回目	総合演習(1分間自己紹介)(9/21)		
7回目	聞くことの重要性(9/28)		
8回目	単位認定試験(9/30)		
授業教材等:			

講義名:	選択授業①	講義時間数:	16時間	受講コース名:	エアライン
担当:	坂上 弘次 他	単位数:	1単位	学年:	2年
講義形式:	演習・座学	実施時期:	2021年度 前期		
認定方法:	その他(50点=出席率を点数換算 50点=単位認定試験)			実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	なし				
備考:	総時間数の8割以上の出席がない場合は単位認定試験を受けることが出来ない。複数あるうちから自分が講義を選び、履修する。後期にも引き続き行う科目もある。				
講義概要:	坂上:販売士、簿記、簡単な原価計算など、店舗運営に必要な基礎知識を学ぶ「店舗運営基礎」 中尾:航空業界について必要な基礎知識を学ぶ「エアラインビジネス」 今川:社会で働く上で必要な基本常識を学ぶ「秘書検定」				
到達目標:					
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	9/3(金)	坂上 今川			
2回目	9/7(火)	中尾 今川			
3回目	9/10(金)	坂上 今川			
4回目	9/14(火)	中尾 今川			
5回目	9/17(金)	坂上 今川			
6回目	9/21(火)	中尾 今川			
7回目	9/24(金)	坂上 今川			
8回目	9/28(火)	中尾 今川			
授業教材等:	履修科目によって教材が異なる。教材費については後期教材費として徴収する。				

講義名:	DMM英会話Ⅱ	講義時間数: 15時間	受講コース名: エアライン
担当:	外部講師	単位数: 1単位	学年: 2年
講義形式:	演習(リモート形式)		実施時期: 2021年度 前期
認定方法:	その他(出席を得点化して評価)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無し		
備考:	自宅での自習。ネット上にて実施履歴を確認できるため、実施回数によって成績とする。		
講義概要:	PC、スマホを利用し、リモートで現地の外国人講師とレベルに合わせた会話を行い、経験を積む。		
到達目標:	英語はまず話すことから。そして会話する度胸が必要となる。リモートにて外国人講師と話すことでまずは会話に慣れること。そして発音のコツや通用する言い回しなどをレッスンされることで、より使える英会話にする。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	毎週1回(1回30分)行う。夏休み中も実施。実施回数は後日指示。		
授業教材等:			

講義名:	学科研修Ⅱ	講義時間数: 18時間	受講コース名: エアライン
担当:	坂上 弘次	単位数: 1単位	学年: 2年
講義形式:	演習・座学		実施時期: 2021年度 通年
認定方法:	その他(出席を得点化して評価)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	なし		
備考:	時期により実施項目に変更あり。		
講義概要:	履修状況報告書の作成・OBOG講話、企業講話や振り返りなどを行う		
到達目標:	1年間を通して学校生活の振り返りと目標設定を定期的に行うことで、常に目標を見据えながら行動する精神を持つことを目標とする。また履修状況報告書の作成を通して、感謝の気持ちを表現する。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	履修状況報告書作成・目標設定と振り返り、など時期によって実施項目を変更する		
授業教材等:			

講義名:	セルフマネジメントⅡ-②	講義時間数: 80時間	受講コース名: エアライン
担当:	中尾 早希	単位数: 5単位	学年: 2年
講義形式:	演習(小テスト・スピーチなど)		実施時期: 2021年度 後期
認定方法:	その他(出席を得点化して評価)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無し		
備考:	原則、全登校日の1限目に実施。日々積み重ねていくことが最も重要な科目であるため、試験・提出物などではなく、出席率を評価の対象とする。		
講義概要:	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認他 朝テストなどの帯学習実施 スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化		
到達目標:	自律する力、自ら考える力、行動する力、感謝する心を身につける。 自分の考えを自分の言葉で表現できる。他者の考えを素直に吸収し人間性の幅を広げられる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	毎回共通: 唱和・朝テスト・スピーチ ※時期により、多少の変動有		
授業教材等:	オリジナルプリント(朝テスト教材)		



講義名:	クロス授業2021	講義時間数: 16時間	受講コース名: エアライン
担当:	中尾 早希、坂上 弘次	単位数: 1単位	学年: 2年
講義形式:	座学型講義中心・グループワーク		実施時期: 2021年度 後期
認定方法:	その他(出席を得点化して評価)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	なし		
備考:			
講義概要:	自学科以外の教員が社会人として身に着けるべき知識・教養に関して様々な視点から講義を行う。		
到達目標:	他学科教員の講義を受講し、様々な知識及び幅広い教養を身に着ける。 社会人として必要な心構え、知識を身に着け、新社会人となる準備を行う。 た学科教員とコミュニケーションを図り、専門知識以外の知識を学ぶ。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	命の授業(平岡)		
2回目	感性を磨く(岡崎)		
3回目	お金の貯め方・使い方(松田)		
4回目	耳で感じる、伝わりやすいアクセント(中藤)		
5回目	美と健康(服部・安廣)		
6回目	楽しく学ぶ日本史(小童)		
7回目	車と保険(藤田)		
8回目	平和学習2021(上村)		
授業教材等:			

講義名:	TOEIC II-②	講義時間数: 32時間	受講コース名: エアライン
担当:	工藤 奈穂子	単位数: 2単位	学年: 2年
講義形式:	座学型講義中心		実施時期: 2021年度 後期
認定方法:	その他(出席点、授業態度、単位認定試験)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無し		
備考:			
講義概要:	海外の大学を卒業した講師による、TOEICスコアアップのための講義を行う。		
到達目標:	このコースの目的は、TOEICテストへの理解を深め、TOEICのスコアアップに役立つスキルを学習・実践する機会を提供することです。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	Part 1: Photos of People and Things		
2回目	Part 1: Photos of Things; Practice Test 1: Listening		
3回目	Practice Test 1: Reading		
4回目	Part 2: Statements, Occupations, Activities, Time, Location, Reason		
5回目	Part 2: How, Auxiliaries; Part 3: Occupations, Activities		
6回目	Part 3: Time, Locations, Reasons, Meaning in Context		
7回目	Part 3: Test Strategies; Part 4: Advertisements, Weather, News		
8回目	Part 4: Phone Messages, Special Announcements, Business Announcements, Test Strategies		
9回目	Part 5: Word Forms: Nouns, Verbs, Adjectives, Adverbs, Pronouns, Context: Nouns		
10回目	Part 5: Context: Verbs, Adjectives, Adverbs, Conjunctions, Prepositions		
11回目	Part 6: Verb Patterns, Modifier Choices		
12回目	Part 6: Context, Main Ideas and Details; General Review		
13回目	Part 7: Advertisements, Forms, Letters, E-mails and Memos, Tables, Indexes and Charts		
14回目	Part 7: Instructions and Notices, Text Message Chains and Online Chat Discussions		
15回目	Reading Comprehension Review		
16回目	Listening Comprehension Review; Practice Test 2: Listening		
17回目	Practice Test 2: Reading		
授業教材等:	LONGMAN PREPARATION SERIES FOR THE TOEIC TEST Intermediate course 6th edition		

講義名:	エアライン英会話Ⅱ-②	講義時間数:	30時間	受講コース名:	エアライン
担当:	工藤 奈穂子	単位数:	2単位	学年:	2年
講義形式:	演習型講義中心(スピーキング)			実施時期:	2021年度 後期
認定方法:	その他(出席を得点化して評価)			実務経験者 担当科目	
評価:	S=100点、A=90~90点、B=89~85点、C=84~80点、D=80点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	無し				
備考:					
講義概要:	海外で実際に使われている英語表現を学びながら、英語のみを使った会話力を伸ばす。また、英語の背景にある文化に対する理解を深め、視野を広く持ち、国際感覚・国際協調の精神も養う。				
到達目標:	英語を話す力を伸ばし、話すことに対して自信をつける。 リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴を掴み、自らの会話に取り入れるようになる。 言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを取れるようになる。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	自己紹介	9回目	英語の表現に慣れる講義		
2回目	英語の音やリズムに触れる講義	10回目	実体験を通して英語に親しむ講義		
3回目	英語の単語や表現に触れる講義	11回目	英語での自己表現を中心とした講義		
4回目	英語の表現に慣れる講義	12回目	英語の音やリズムに触れる講義		
5回目	実体験を通して英語に親しむ講義	13回目	英語の単語や表現に触れる講義		
6回目	英語での自己表現を中心とした講義	14回目	英語の表現に慣れる講義		
7回目	英語の音やリズムに触れる講義	15回目	実体験を通して英語に親しむ講義		
8回目	英語の単語や表現に触れる講義	16回目	英語での自己表現を中心とした講義		
9回目	英語の表現に慣れる講義	17回目	まとめ、振り返り①		
10回目	実体験を通して英語に親しむ講義	18回目	まとめ、振り返り②		
授業教材等:					

講義名:	キャリア基礎	講義時間数: 30時間	受講コース名: エアライン
担当:	坂上 弘次	単位数: 2単位	学年: 2年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2021年度 後期
認定方法:	その他(出席を得点化して評価)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	なし		
備考:			
講義概要:	業界問わず、社会人として必要な基礎知識を学ぶ。別の講師が対応することにより幅広い知識と経験をつける。		
到達目標:	保険、税金など社会人として必要最低限の知識を身につけると共に、これまで学んできたことを実体験として置き換えることが出来るようにする。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	社会人として必要なものとは①		
2回目	社会人として必要なものとは②		
3回目	社会人として必要なものとは③		
4回目	社会人として必要なものとは④		
5回目	社会人として必要なものとは⑤		
6回目	社会人として必要なものとは⑥		
7回目	社会人として必要なものとは⑦		
8回目	社会人として必要なものとは⑧		
9回目	社会人として必要なものとは⑨		
10回目	社会人として必要なものとは⑩		
11回目	社会人として必要なものとは⑪		
12回目	社会人として必要なものとは⑫		
13回目	社会人として必要なものとは⑬		
14回目	2年間の振り返り		
15回目	総復習		
授業教材等:			

講義名:	選択授業②	講義時間数: 30時間	受講コース名: エアライン
担当:	坂上 弘次 他	単位数: 2単位	学年: 2年
講義形式:	演習・座学		実施時期: 2021年度 後期
認定方法:	その他(50点=出席率を点数換算 50点=単位認定試験)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	なし		
備考:	総時間数の8割以上の出席がない場合は単位認定試験を受けることが出来ない。 複数あるうちから自分が講義を選び、履修する。		
講義概要:	坂上: 販売士、簿記、簡単な原価計算など、店舗運営に必要な基礎知識を学ぶ「店舗運営基礎」 中尾: 航空業界について必要な基礎知識を学ぶ「エアラインビジネス」 今川: 社会で働く上で必要な基本常識を学ぶ「秘書検定」 工藤: 航空業界のみならず、接客業全般で使用する英語を学ぶ「英検対策」		
到達目標:	複数科目から自主的に選択し学ぶことにより、積極性を身につける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	選択する科目により、スケジュールが異なる。		
授業教材等:	履修科目によって教材が異なる。教材費については後期教材費として徴収する。		

講義名:	選択授業③	講義時間数: 30時間	受講コース名: エアライン
担当:	中尾 早希 他	単位数: 2単位	学年: 2年
講義形式:	演習・座学		実施時期: 2021年度 後期
認定方法:	その他(50点=出席率を点数換算 50点=単位認定試験)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	なし		
備考:	総時間数の8割以上の出席がない場合は単位認定試験を受けることが出来ない。 複数あるうちから自分が講義を選び、履修する。		
講義概要:	坂上: 販売士、簿記、簡単な原価計算など、店舗運営に必要な基礎知識を学ぶ「店舗運営基礎」 中尾: 航空業界について必要な基礎知識を学ぶ「エアラインビジネス」 今川: 社会で働く上で必要な基本常識を学ぶ「秘書検定」 工藤: 航空業界のみならず、接客業全般で使用する英語を学ぶ「英検対策」		
到達目標:	複数科目から自主的に選択し学ぶことにより、積極性を身につける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	選択する科目により、スケジュールが異なる。		
授業教材等:			

講義名:	一般教養	講義時間数: 30時間	受講コース名: エアライン
担当:	今川 弥生	単位数: 2単位	学年: 2年
講義形式:	演習形式		実施時期: 2021年度 後期
認定方法:	その他(出席を得点化して評価)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無し		
備考:	無し		
講義概要:	電話実習、名刺交換や冠婚葬祭等の社会人マナーの基本を身につける。		
到達目標:	社会人として必要な一般常識・一般教養や、社会生活を送るうえで知っておくべき基礎知識を身につける。 チームでの教え合いを通して、コミュニケーション力、献身的な考え方を身につける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	電話対応①		
2回目	電話対応②		
3回目	電話対応③		
4回目	冠婚葬祭		
5回目	名刺交換		
6回目	社内政治①		
7回目	社内政治②		
8回目	プレゼン資料作成①		
9回目	プレゼン資料作成②		
10回目	プレゼン資料作成③		
11回目	プレゼン資料作成④		
12回目	プレゼン発表①		
13回目	プレゼン発表②		
14回目	プレゼン発表③		
15回目	プレゼン発表④		
授業教材等:	プリントを適宜配布		

講義名:	パソコン技法	講義時間数: 32時間	受講コース名: エアライン
担当:	平石 明香	単位数: 2単位	学年: 2年
講義形式:	実技・実習(パソコン使用)		実施時期: 2021年度 後期
認定方法:	認定試験(筆記試験)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有り(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能 授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合有り		
講義概要:	パソコン必須。 取得した検定を使用し実際の活用方法を学ぶ。		
到達目標:	エクセル、ワードの活用と使い方、Eメールの活用 必要最低限のPCの知識を学び、仕事で活用できるようにする		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	パソコンの周辺機器について、使い方など		
2回目	ITリテラシー他		
3回目	Wordの使い方①		
4回目	Wordの使い方②		
5回目	Wordの使い方③		
6回目	Wordの使い方④		
7回目	Wordの使い方⑤		
8回目	Excelの使い方①		
9回目	Excelの使い方②		
10回目	Excelの使い方③		
11回目	Excelの使い方④		
12回目	Excelの使い方⑤		
13回目	Excelの使い方⑥		
14回目	Excelの使い方⑦		
15回目	Excelの使い方⑧ Eメールの活用		
16回目	単位認定試験		
授業教材等:			



講義名:	中国語②	講義時間数: 30時間	受講コース名: エアライン
担当:	柯 龍蘭	単位数: 2単位	学年: 2年
講義形式:	座学型講義形式、演習(場面練習等の)形式併用		実施時期: 2021年度 後期
認定方法:	その他(定期試験60%、対話練習の積極性20%、出席20%)		実務経験者 担当科目 <input type="radio"/>
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験: 塾にて講師勤務 3年 中国語家庭教師歴 10年
追試験実施:	有り(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:			
講義概要:	「聞く」と「参加する」授業です。基礎知識の習得をし、発音・単語・基本文法を中心に日常会話で練習します。Unit(ユニット)ごとに、文法・会話を楽しみましょう。初・中級レベルの基礎を身につけ、それに基づいて空港で働く際に使用する中国語を中心に講義します。		
到達目標:	中国語の発音・基本的な語彙を読めるよう、文法を理解し、日常会話を話し、聞き取れるようにすること。さらなる応用・専門的な語彙・会話を話せるよう中国語力の向上を目指します。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	Unit 6~Unit 11		
2回目	Unit 12~Unit 17		
3回目	Unit 18~Unit 23		
4回目	Unit 24~Unit 29		
5回目	Unit 30~Unit 35		
6回目	Unit 36~Unit 41		
7回目	Unit 42~Unit 47		
8回目	Unit 48~Unit 53		
9回目	Unit 54~Unit 59		
10回目	Unit 60~Unit 65		
11回目	Unit 66~Unit 71		
12回目	Unit 72~Unit 77		
13回目	Unit 78~Unit 83		
14回目	空港で働く際に使用する中国語 1(プリント)		
15回目	空港で働く際に使用する中国語 2(プリント)		
授業教材等:	真剣に学び続ける人の中国語教本【中級編】		

講義名:	体育②	講義時間数:	30時間	受講コース名:	エアライン
担当:	服部 成志 / 豊岡 恵梨子	単位数:	2単位	学年:	2年
講義形式:	実技			実施時期:	2021年度 後期
認定方法:	その他(出席を得点化して評価)			実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	無し 講義時間数の80%以上出席必要				
備考:	A・Bの2チームに分け体育館とミライアス(ヨガ)を交互に使用する。 新型コロナウイルスの感染状況に合わせて、競技・ペアワークの実施は変更の可能性あり。				
講義概要:	球技や音楽に合わせたエクササイズなどを通じて、心身の健やかな成長をねらう。 和みのヨガを通して、自分自身の身体を整える方法と習慣を身に付ける。				
到達目標:	技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わい、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育む。 自分の体調は自分で整えるという自律した姿勢を身に付ける。 自分の体調に合わせて、必要な手当てを選択することができる。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	体育館:エクササイズ①	9回目	体育館:エクササイズ②		
	ヨガ:下半身の循環が良くなるヨガ		ヨガ:ペアワーク(うつ伏せ・仰向け)		
2回目	体育館:球技①	10回目	体育館:球技②		
	ヨガ:しなやかな体幹をつくるヨガ		ヨガ:ペアワーク(座位・横向き)		
3回目	体育館:エクササイズ②	11回目	体育館:エクササイズ③		
	ヨガ:ペアワーク(うつ伏せ・仰向け)		ヨガ:骨盤を整えるヨガ		
4回目	体育館:球技②	12回目	体育館:球技③		
	ヨガ:ペアワーク(座位・横向き)		ヨガ:日常生活の中で役立つお手当て		
5回目	体育館:エクササイズ③	13回目	体育館:エクササイズ①		
	ヨガ:骨盤を整えるヨガ		ヨガ:下半身の循環が良くなるヨガ		
6回目	体育館:球技③	14回目	体育館:球技①		
	ヨガ:日常生活の中で役立つお手当て		ヨガ:しなやかな体幹をつくるヨガ		
7回目	体育館:エクササイズ①	15回目	体育館:1年の振り返り		
	ヨガ:下半身の循環が良くなるヨガ		ヨガ:1年の振り返り		
8回目	体育館:球技①				
	ヨガ:しなやかな体幹をつくるヨガ				
授業教材等:					

講義名:	卒業発表	講義時間数: 15時間	受講コース名: エアライン
担当:	中尾 早希	単位数: 1単位	学年: 2年
講義形式:	演習		実施時期: 2021年度 後期
認定方法:	その他(出席を得点化して評価)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無し		
備考:			
講義概要:	卒業発表会(年度内最終授業日に実施予定)に向けてのパワーポイント等の資料作成、および発表準備を行う。		
到達目標:	2年間の学生生活を振り返り、発表を行う。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	プレゼンテーション資料作成・発表準備		
2回目	プレゼンテーション資料作成・発表準備		
3回目	プレゼンテーション資料作成・発表準備		
4回目	プレゼンテーション資料作成・発表準備		
5回目	発表		
授業教材等:			